

**製品名: 53BP2/ASPP2 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21222**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:100-1:300
分子量	Calculated MW::Observed MW:124kD

**抗原情報**

遺伝子名	TP53BP2;ASPP2;BBP TP53BP2;ASPP2;BBP;Apoptosis-stimulating of p53 protein 2 ;Bcl2-binding protein;Bbp;Renal carcinoma antigen NY-REN-51;Tumor suppressor p53-binding protein 2;53BP2;p53-binding protein 2;p53BP2;
別名	
遺伝子 ID	7159.0
SwissProt ID	Q13625
免疫原	ヒト 53BP2/ASPP2 の合成ペプチド

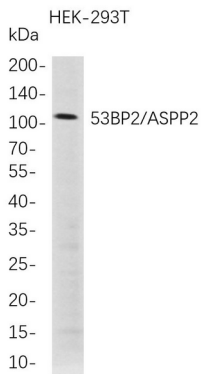
**背景**

細胞局在: 細胞質、核周縁部。核。注: 主に核周縁部に存在し、一部は核内にも存在する。DDX42の過剰発現により細胞質に隔離される。この遺伝子は、p53相互作用タンパク質であるASPP (p53のアポトーシス刺激タンパク質) ファミリーのメンバーをコードする。このタンパク質は、4つのアンキリンリピートと、タンパク質間相互作用に関与するSH3ドメインを含む。細胞質の核周縁部に局在し、p53ファミリーのメンバーを含む他の調節分子との相互作用を介してアポトーシスと細胞増殖を制御する。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが見出されている。[RefSeq提供、2008年7月]

## 研究分野

-

## 画像データ



HEK-293T全細胞ライセートのウェスタンブロット解析では、4~20% SDS-PAGEで分離し、メンブレンを抗53BP2/ASPP2ウサギモノクローナル抗体でブロットニングした。抗体の検出には、HRP標識ヤギ抗ウサギIgG(H+L)抗体を用いた。